

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

み ひと

## まぼろしを見る人、エゼキエル



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また きよか  
又はプリントは、許可されています。



むかし つよ ぐん せ  
ずっと昔、とても強い軍たいがユダを攻めてきました  
ぐん かみ  
た。その軍たいは、たくさんの神さまの

たみ  
民をつかまえ、バビロ  
い  
ンへもどって行っ

たのです。



とらわれ人となつて、バビロンへつれて行かれたユダ

の人々は、自分のふるさとから、とおくと

おくはなれたケバル川の  
ほとりに、住むようにな

りました。



なか かみ  
かれらの中に、神さまのしもべ、  
しや  
よげん者エゼキエルがいましたよ。



ひ かみ

ある日、神さまはエゼキエルに、まぼろし

み

かみ

えいこう

を見せられました。そこでは、神さまの栄光

にん

が、4人のようせいたちのすがたとなって、

ひか

光りかがやいていました。そのようせいたち

ひとり ひとり

一人一人は、れぞれに4つのかおと、4まい

も

のはねを持っ

ています。



うえ

ようせいたちの上には、うつくしいサファ

おう

アの王さまのイスがありました。まばゆい

ひかり

光が、あふれるようにふりそそぎ、それはま

にじ

るで、もえる虹のよう。エゼキエルは、

あまりのかがやきに、

おも

した

思わず下をむ

いてしまい

ました。



かみ

神さまは、エゼキエルに言われました。「わたしはあなたを、イスラエルのこどもたちのと

おく

ころへ送ろう。かれらに、

つた

わたしのことばを伝えるのだ。かれらは、



て お

もうわたしの手に負えなくなってきた。」あれ、

も て

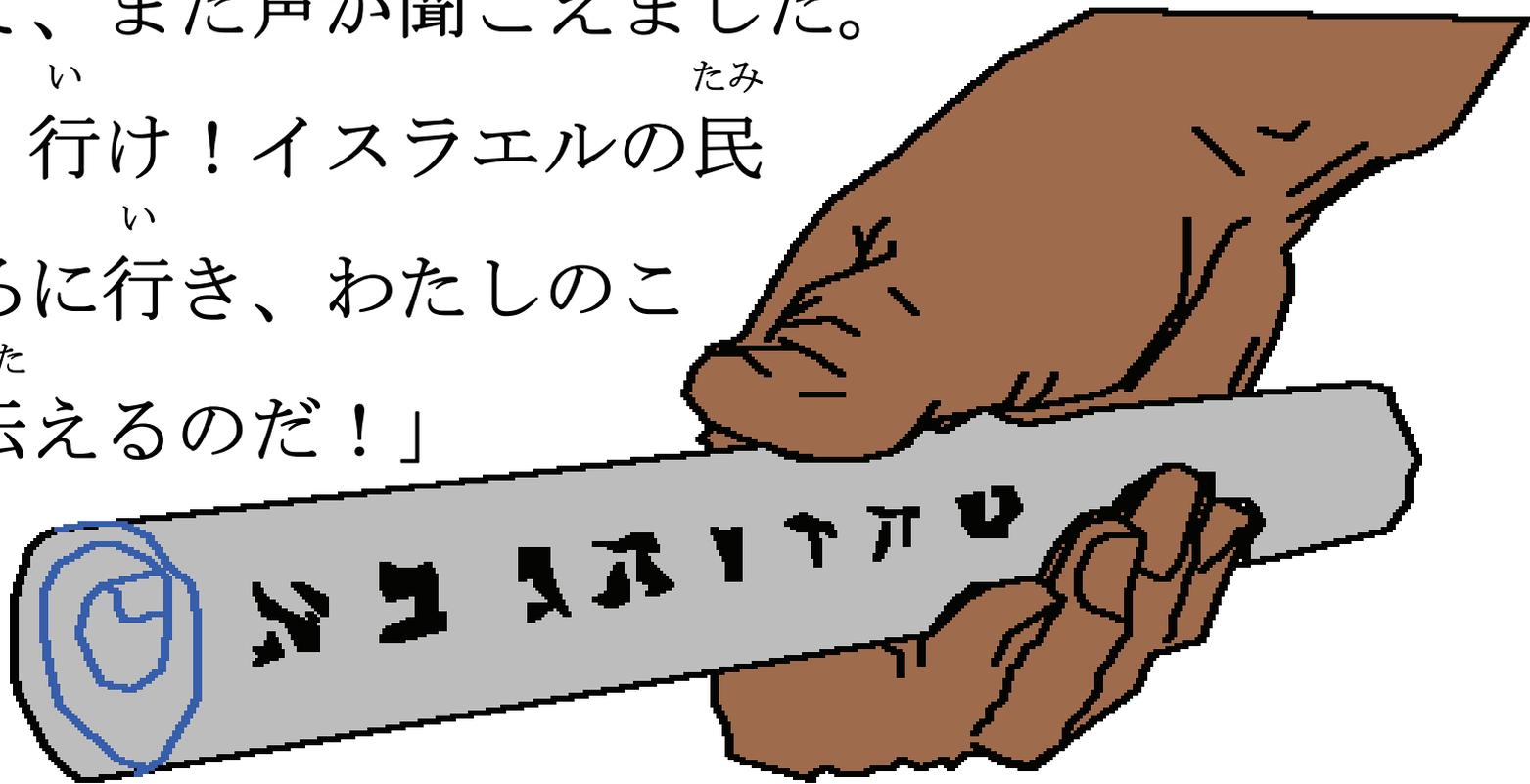
とつぜんまきものを持った手が、あらわれました。



「エゼキエル、このまきものを食べなさい！」

つづいて、また声が聞こえました。

「さあ、行け！イスラエルの民  
のところに行き、わたしのこ  
とばを伝えるのだ！」



なんて  
へんな  
めいれ

いでしょうか。でもね、エゼキエルは、ちゃんとめい  
れいどおり、まきものを食べて、出かけました。



エゼキエルは、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>ひ</sup>れいに<sup>あ</sup>引き上げられ、とらえ

<sup>びと</sup>人となった<sup>じん</sup>ユダヤ人

<sup>す</sup>が<sup>がわ</sup>住んでいるケバル川

<sup>ひと</sup>の<sup>ところ</sup>もう一つの所に、  
つれていかれましたよ。

<sup>なぬかかん</sup>そこで、7日間、ユダヤ

<sup>じん</sup>人たちのそばにいて、  
かれらのようすを

<sup>み</sup>見ていたエゼキエル

は、かれらが、ひどいことばかりしている  
のでほんとうにおどろいてしまいました。



かみ

神さまは、エゼキ

い

エルに言われました。

ち み

「この地で見はりば  
んになるように。」そ  
れから、エゼキエルは、

わる

悪いことをしてい

ひとびと

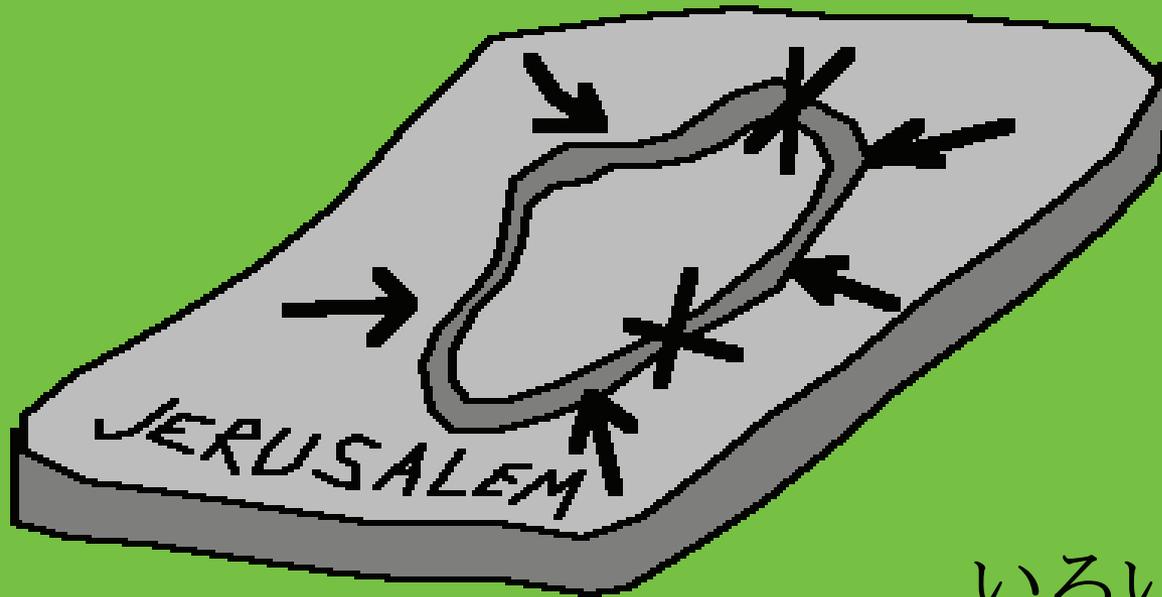
かみ

る人々に、「神さ  
まにしたがわない  
ことは、もうや

ちゅうい

めよう！」と注意するようになりました。





エゼキエルは、  
ひとびと かみ  
人々に神さまの  
ことばを、  
はっきりとわか  
らせるため、  
か

いろいろな変わったこ

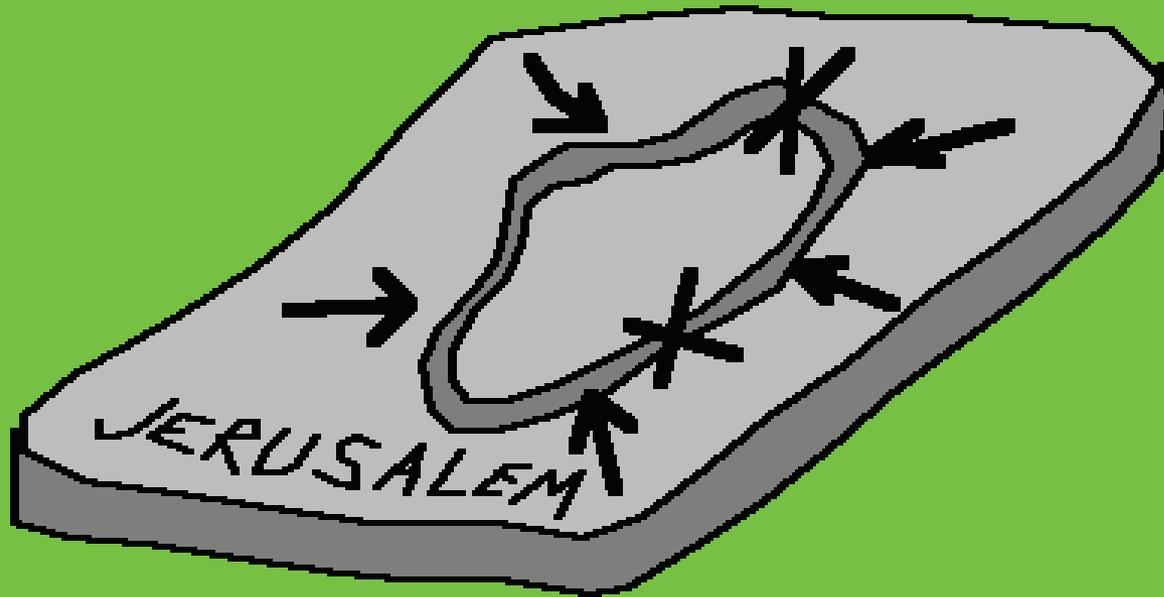
とをしました。たとえばね、かれは

え うち  
エルサレムの絵を、土のタイルのかけらに、ひっかい

えが え へいし  
て描きました。その絵は、たくさんの兵士たちが、

かこ え  
エルサレムのまわりを囲んでいる絵でしたよ。





たぶん、  
みんなそこにあつまって、かれのうしろから、  
その絵えを見ていたことでしょうね。エゼキエルは、  
神さまの聖せいなる町まちが、もうすぐほろぼされてし  
まうだろうと、みんなに伝つたえました。



きた おうこく

ねん

北の王国イスラエルは、390年ものあいだ、

かみ

神さまにしたがいませんでした。

みなみ おうこく

そして南の王国ユダは、40年のあいだ、

したがわなかったのです。



なが

そんなに長いあいだ、したがわなかったから、

くに

イスラエルの国は、ほろぼされてしまったのですね。

くに いま

そして、ユダの国も今また、  
なくなってしまうそうですよ。



そこで、神さまはエゼキエルに言われました。

かみ

い

ひだり

した

「さあ、からだの左がわを下にして、

にち

よこ

390日のあいだ、横むきになったままでいなさい。



それから、<sup>みぎ</sup>こんどは右がわを<sup>した</sup>下にして、  
<sup>にち</sup>40日のあいだ、<sup>おな</sup>同じようにしなさい。」  
<sup>ひとびと</sup>それは人々に、<sup>つみ</sup>罪をおかした年のかずを、  
<sup>とし</sup>  
<sup>おも</sup>思い出させるためだっ  
<sup>だ</sup>たのです。





ひとびと

たぶん、人々ははじめ、

おも

こう思ったことでしょう。

エゼキエルって、

ひと

なんてへんな人なのだろうって。

でもね、エゼキエルは、

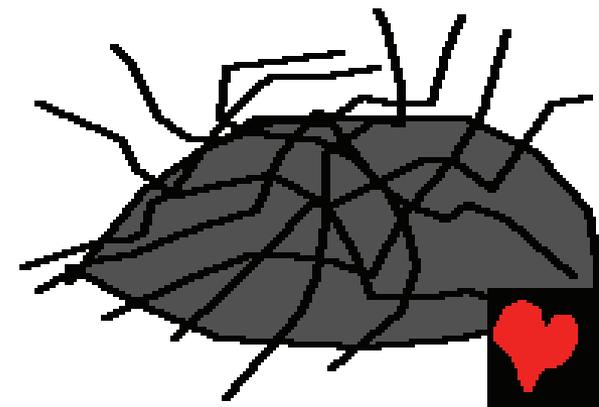
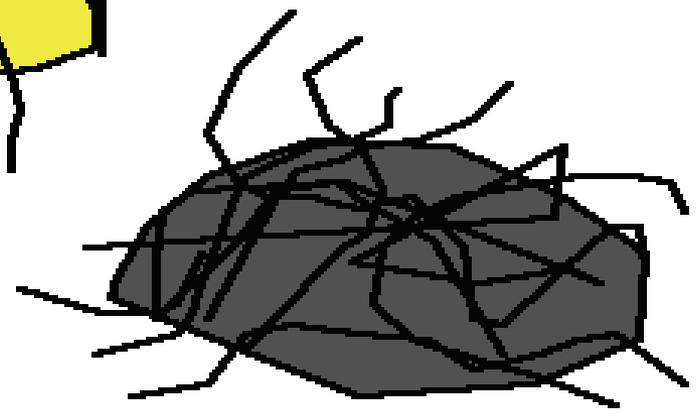
かみ

い

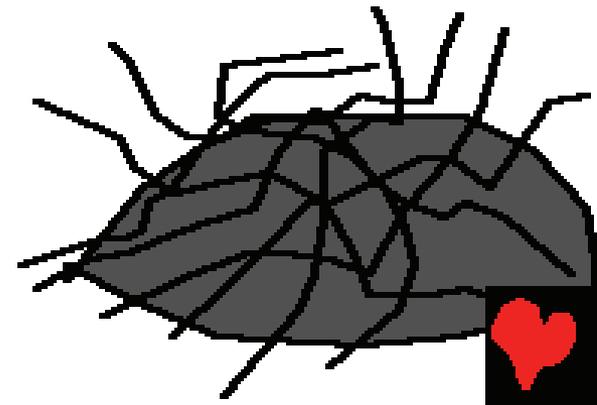
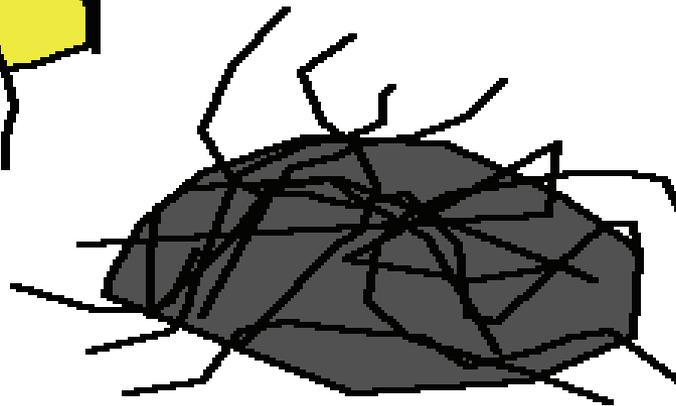
ただ神さまが言われるとおりに、

おこな

すべてを行っただけなんです。



ある日、エゼキエルは、  
自分のかみの毛をそりおとし、  
その三分の一をやいてしまいました。



ぐん

これは、バビロンの軍

たいが、せめてきたとき、

す

ひとびと

エルサレムに住んでいる人々の

さんぶん

いち

びょうき

三分の一が、病気になったり、

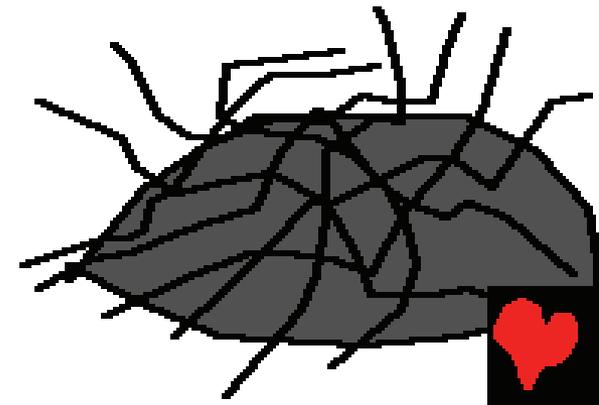
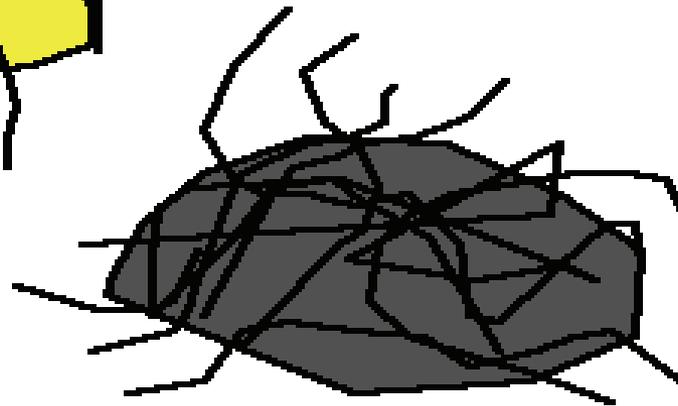
た

または食べるものがなくなって、

し

死んでしまっただろうとい

うことでした。



つぎに、エゼキエルは、また自分のかみの毛の三分の  
いち つるぎ  
一をとり、それをかれの剣で、こまかくきざみまし  
さんぶん いち ひとびと ぐん つるぎ  
た。それは三分の一の人々が、てきの軍たいの剣で、  
し  
死んでしまうだろうということでした。



さて、エゼキエルは、さいごにのこった

さんぶん いち

け

かぜ ふ

三分の一のかみの毛を、風に吹きとばしましたよ。



あれあれ、かれは、そこなんぼんから何本けかとのかみの毛を取っ  
て、自分じぶんのうわぎ着ぎのすそのところに、ぬいこんでいま  
すね。それは、神かみさまが何人なんにんかの人々ひとびとを、やくそくし  
てくださとちった土地あんぜんに、安全かえに返してくださると



いうことだっ  
たのです。



このゆう気あるよげん者エゼキエルは、

とらわれ人となっているユダヤ

人に言いました。「みんな、

聞いてくれ！これからは、

もっと悪くなっていくんだ！

みんながねがっているよ  
うに、よくなるはないん

だよ。」これを聞

いた人々は、

カンカンに怒りました。



でもね、エゼキエルは、神さまのこと  
はな  
ばを話しつづけました。ある日、  
エゼキエルが、イスラエルの  
ろうじん  
老人たちといっしょにすわ  
かみ  
っていると、神さまが、  
エゼキエルにまぼろしを  
み  
見せられましたよ。



なか かみ

このまぼろしの中で、神さまは、

エゼキエルをかれのかみの

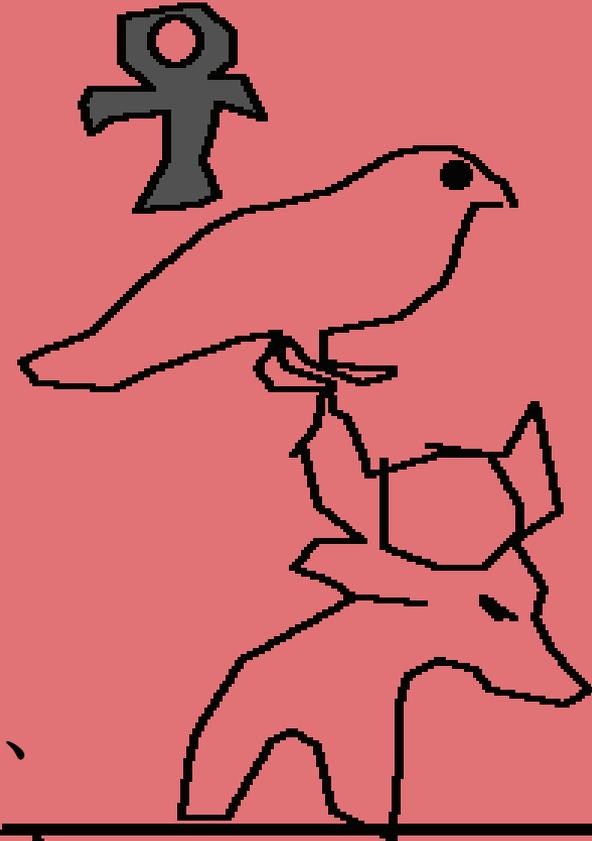
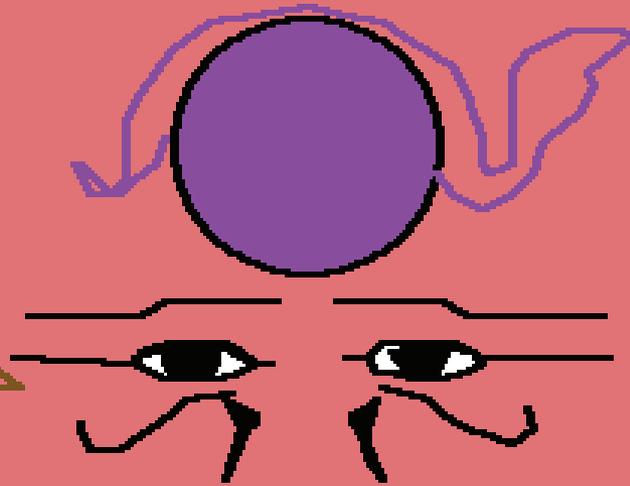
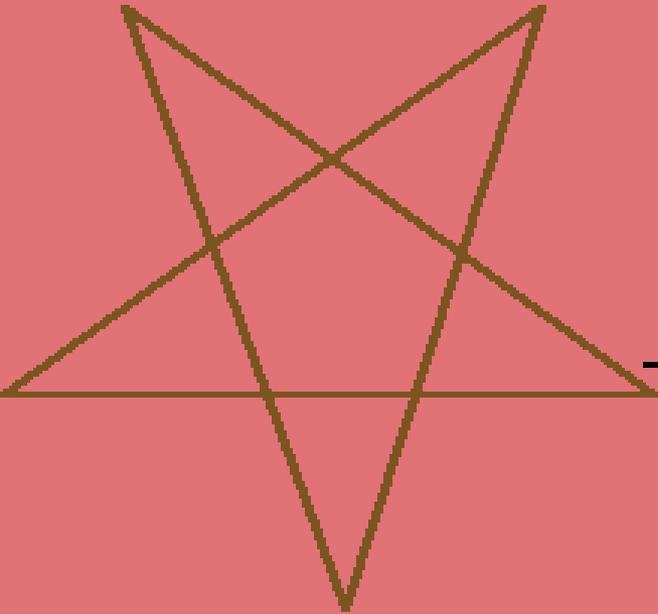
け も あ  
毛で持ち上げられ、エル

しん  
サレムの神でんまで、

はこばれました。



しん なか かみ  
神でんの中で、神さまはエゼキエルに、ぞーっとするよ  
けが ぞう み  
うな汚れたけどものや、ぐう像などを見せられました。  
これらのものは、

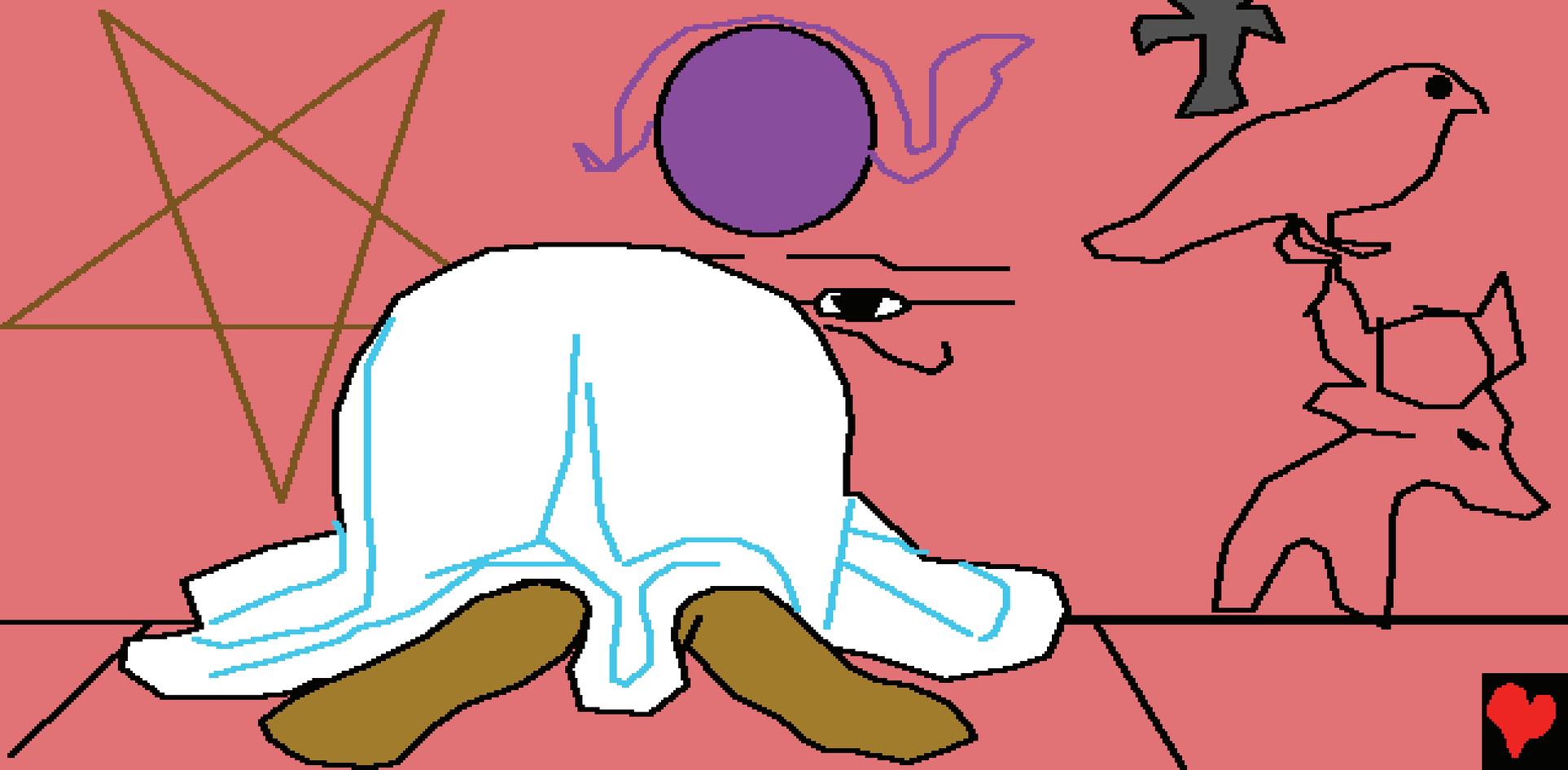


しん なか  
ぜったいに神でんの中に、

おいてはいけないものでした。



じつは、このし<sup>しゃ</sup>どう者<sup>かみ</sup>たちは、神さまのかわりに、  
これら<sup>れいはい</sup>のものを礼拝<sup>かみ</sup>していたのです。神さまは、  
つぎ<sup>つた</sup>のことも伝えられました。



かみ

えいこう

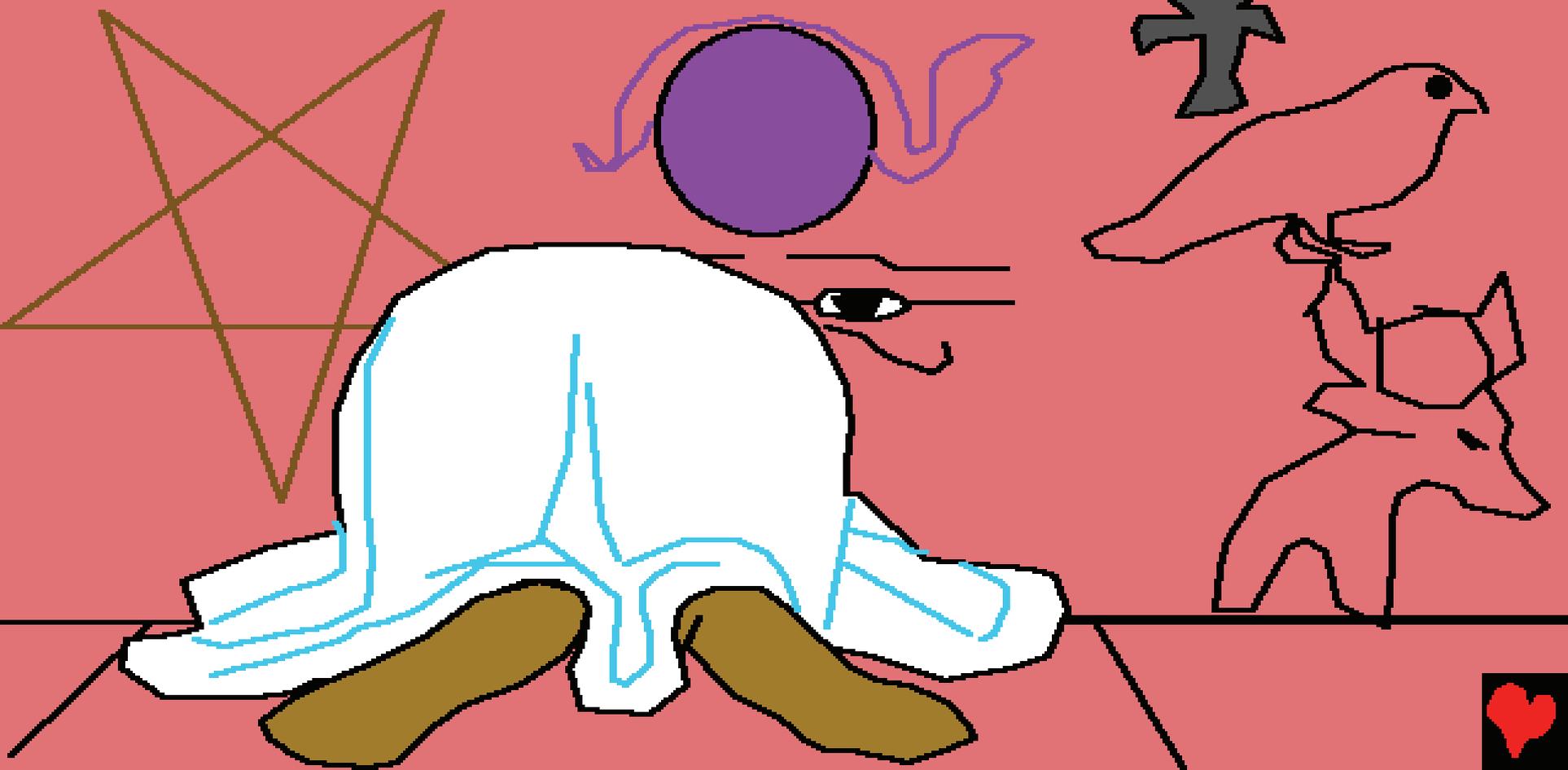
きゆう

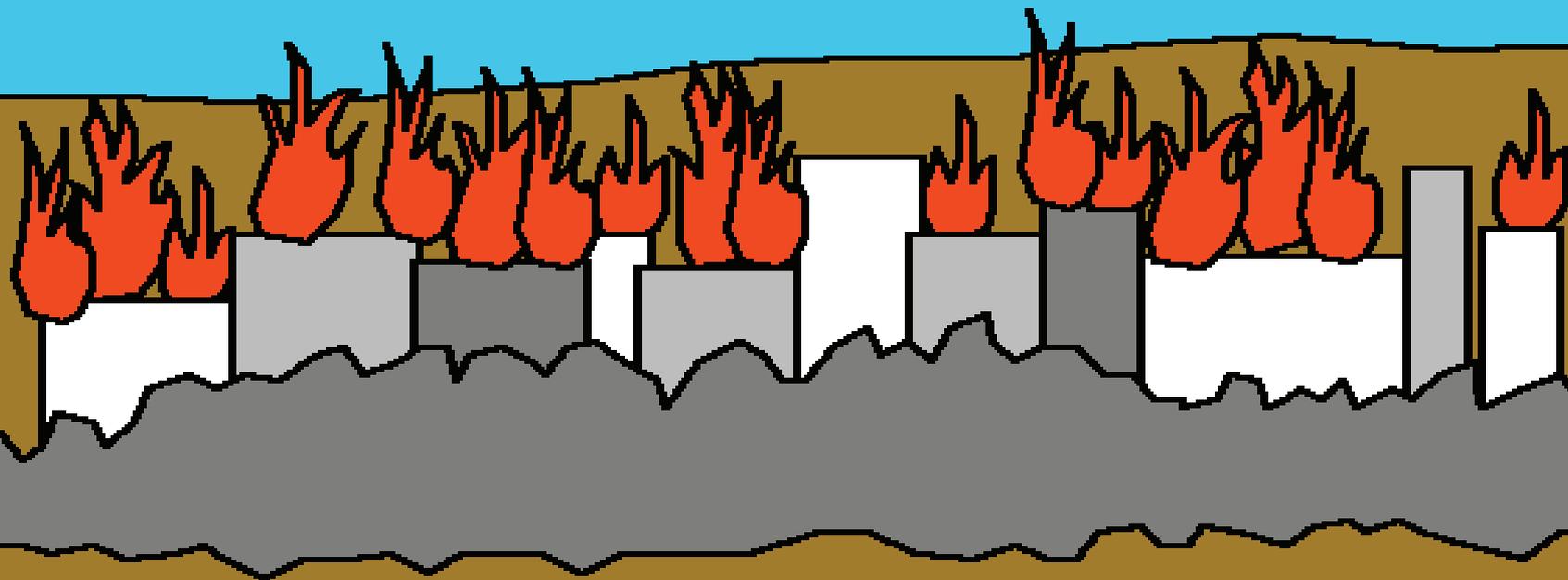
さ

「神さまの栄光は、この宮でんを去ってしまい、ほろぼされてしまうだろう。」それから、まぼろしが、きえてしまいましたよ。エゼキエルは、このことをユダ

ひとびと

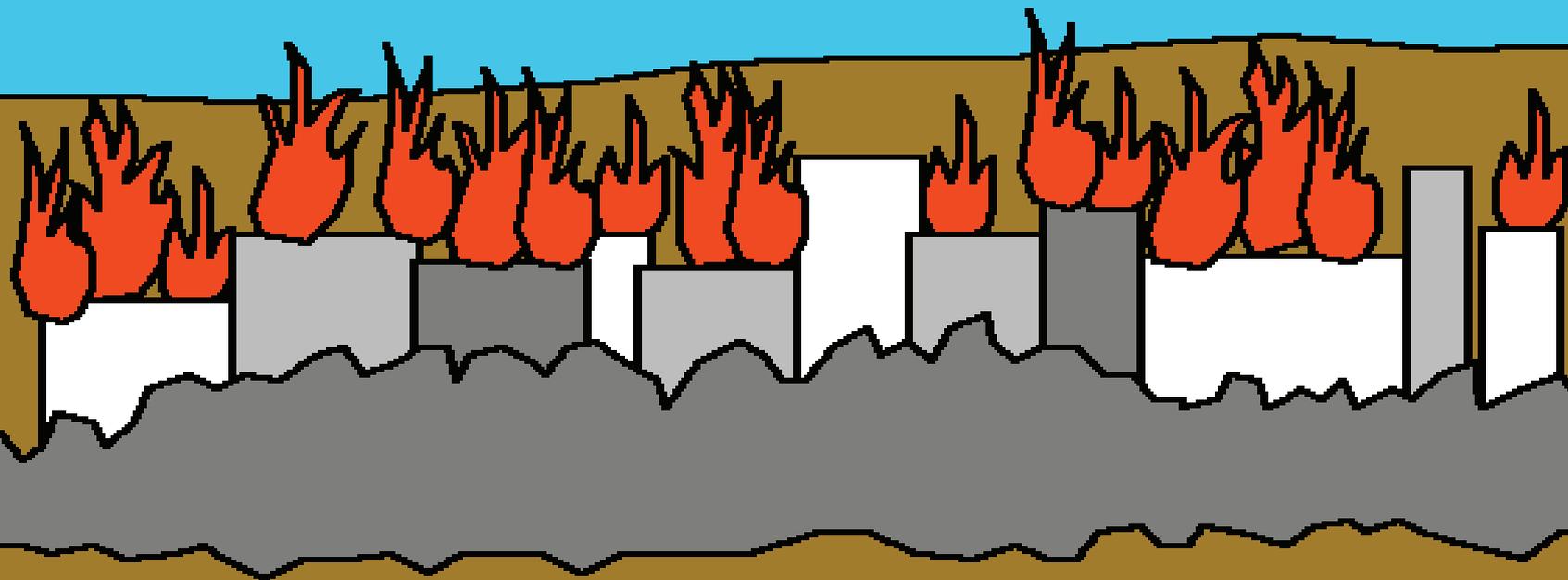
ヤの人々に、はなしました。





かみ い  
神さまが言われたことは、みんなそのとおりに  
なりました。エルサレムは、ほろぼされてしまい、  
おお ひとびと  
多くの人々は、ころされてしまったのです。





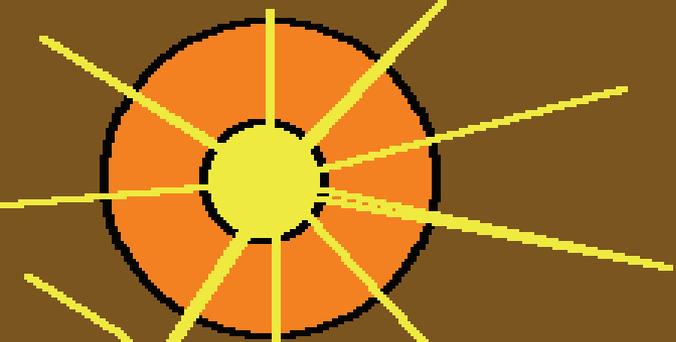
バビロンで、<sup>ひと</sup>とらわれ人となっているユダヤの人々<sup>ひとひと</sup>  
は、それを聞いたとき<sup>き</sup>思いました。ああ、神さまは、<sup>おも</sup>  
<sup>かみ</sup>神さまの民を、<sup>たみ</sup>すっかりあきらめられたのだろうか。  
<sup>たす</sup>もう、助けてくださらないのだろうか。





けれども、神さまは、それからもう  
ひとつのことを、よげん者<sup>しゃ</sup>に伝え  
られました。

かみ

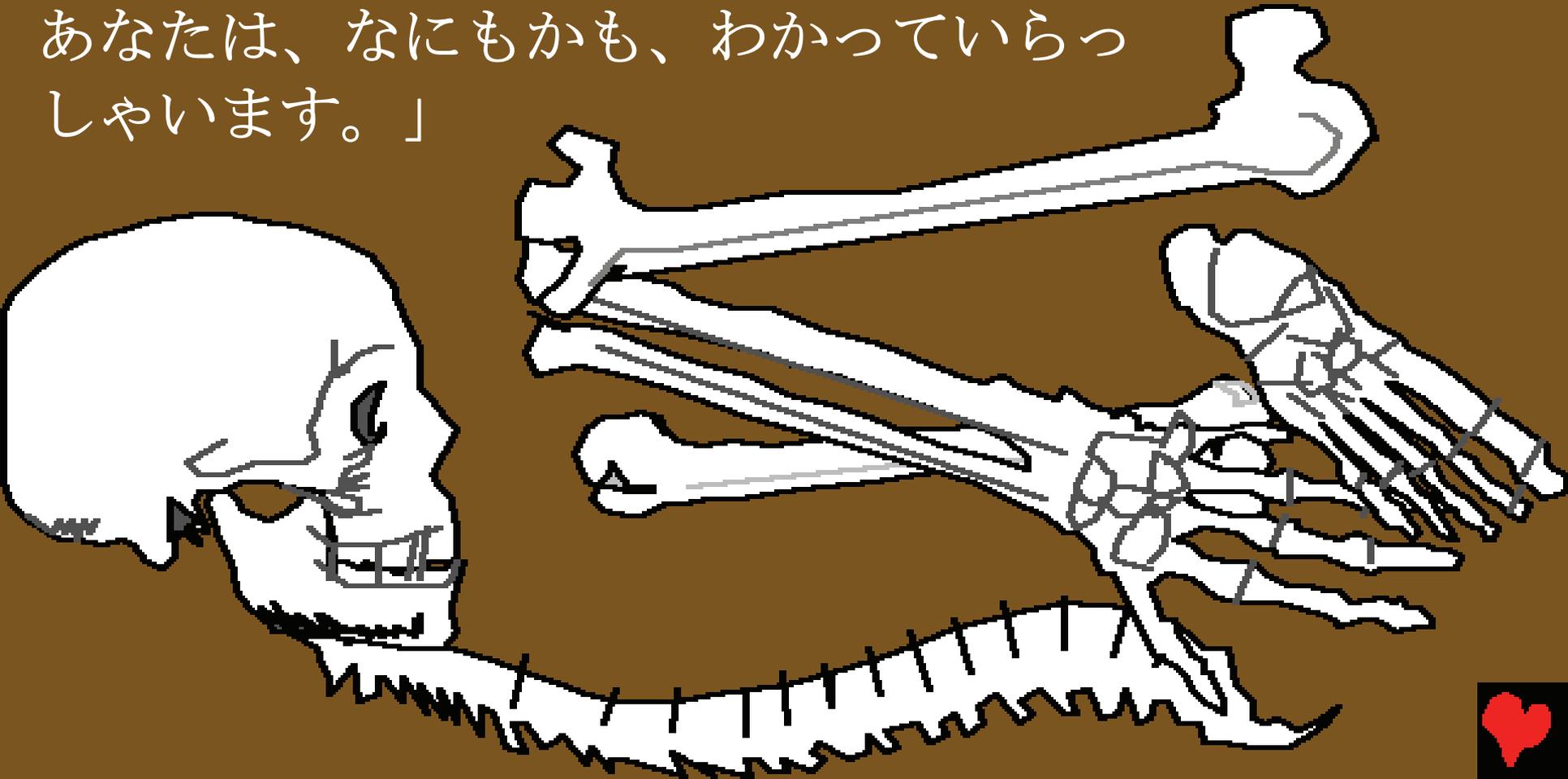


かみ  
神さまは、エゼキエルをかわいた  
ほね たに  
骨のいっぱいある谷までつれてい  
かれました。

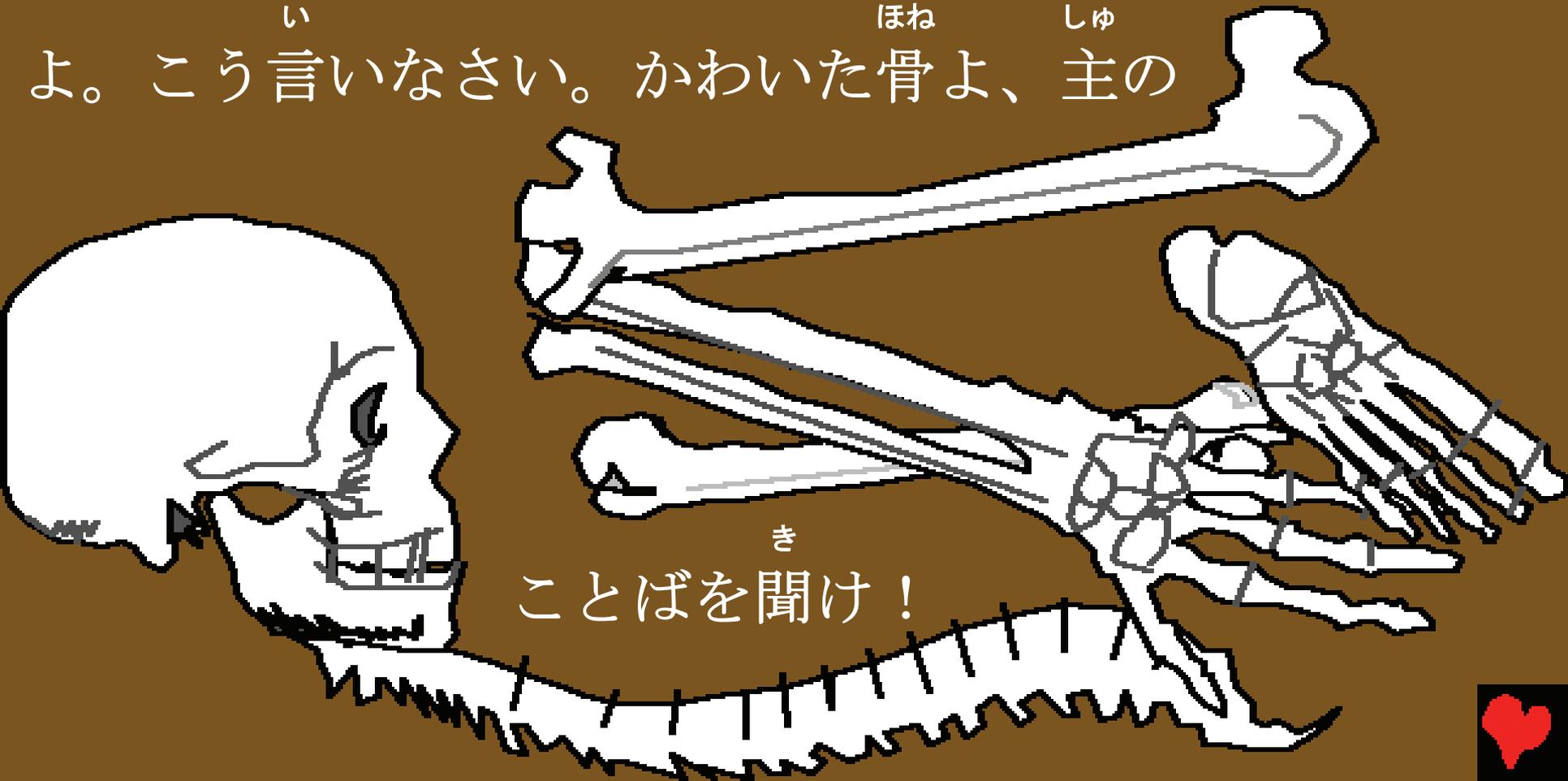
にんげん ほね  
あれっ、人間の骨のようです。



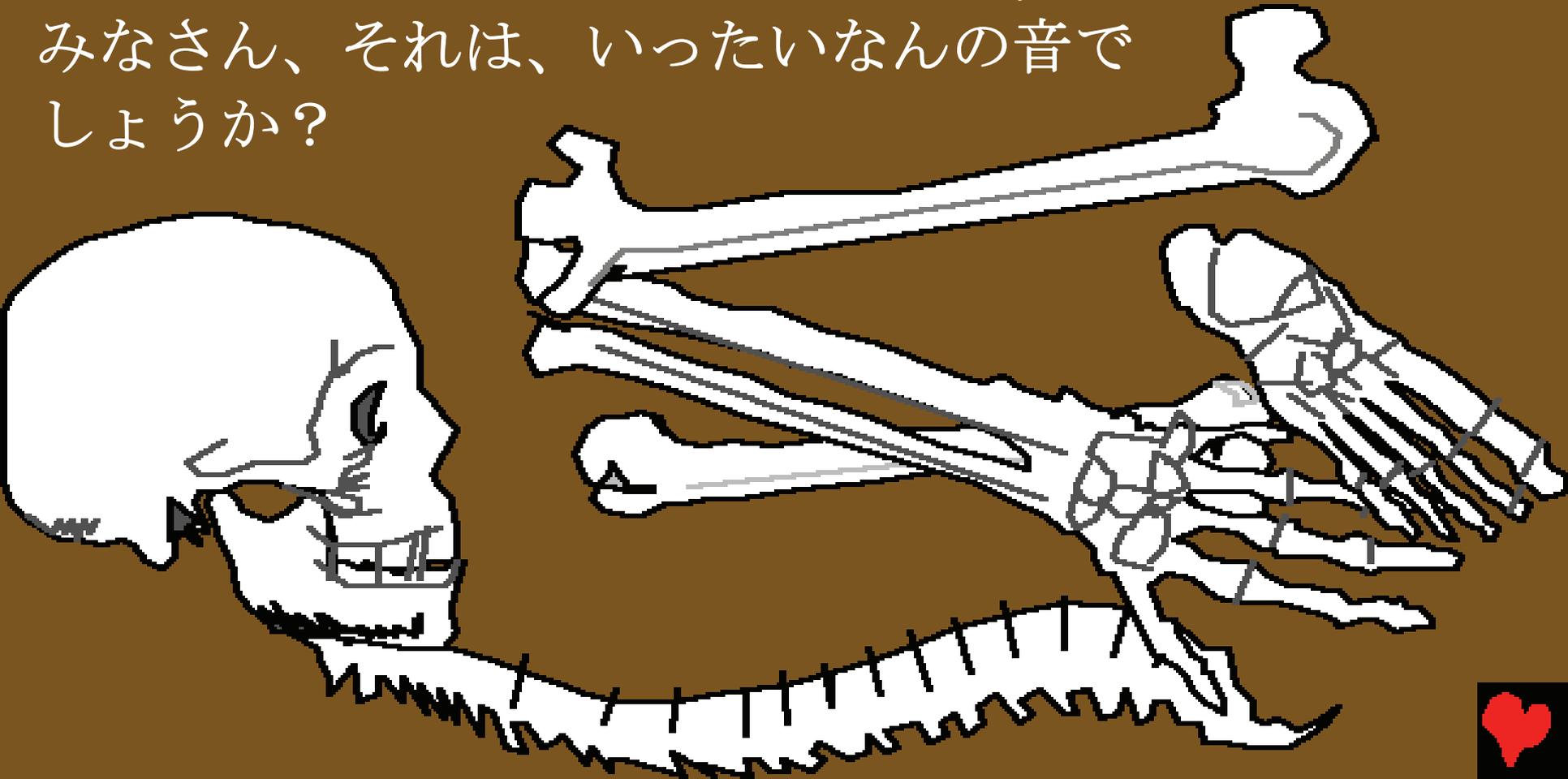
ひと こ ほね い  
「人の子エゼキエルよ、これらの骨は、また生きかえ  
ることができるだろうか。」神さまは、エゼキエルに  
かみ  
たずねられました。「ああ、主なる神さま、  
かみ  
あなたは、なにもかも、わかっています。」



そう、もちろん、<sup>ほね</sup>かわいた骨が、<sup>い</sup>もういちど生きかえる  
ことなんかできませんね。主は、<sup>しゅ</sup>言われ<sup>い</sup>ました。「エゼ  
キエル、<sup>ほね</sup>これらの骨に、<sup>つた</sup>わたしのことばを伝えるのだ  
よ。<sup>い</sup>こう言いなさい。<sup>ほね</sup>かわいた骨よ、<sup>しゅ</sup>主の

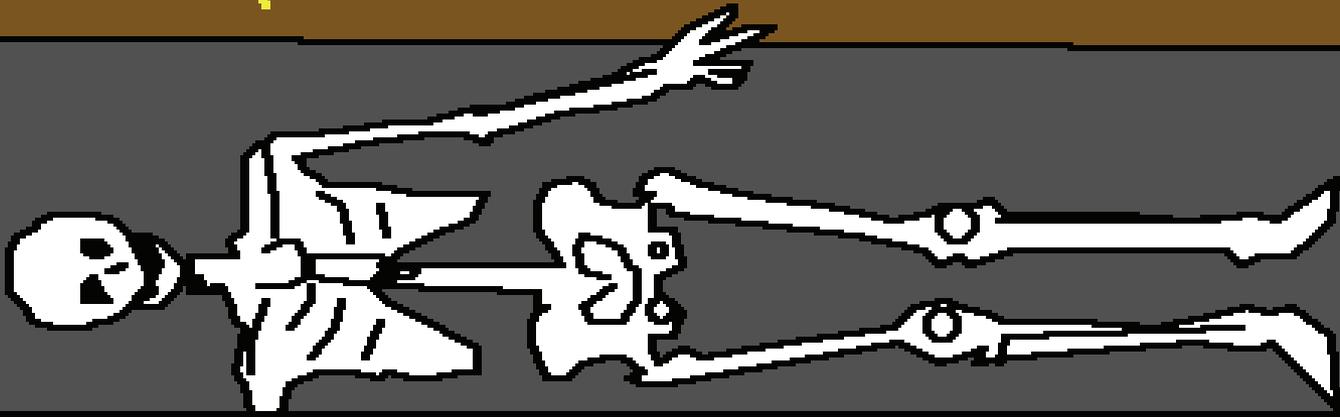


おまえたちは、生き返るだろう！」エゼキエルは、主しゅの言われるとおりにしましたよ。すると、どこからでおとしょうか、カタカタっていう音が聞こえてきました。  
みなさん、それは、いったいなんの音でおとしょうか？



よげん者<sup>しゃ</sup>エゼキエルが、びっくりして見<sup>み</sup>ていると、  
あれよ、あれよ、<sup>い</sup>と言うまに、<sup>ほね ほね</sup>骨と骨がつながって、  
<sup>ひと</sup>もとの人のかたちになって

いきますよ。



ほね にく

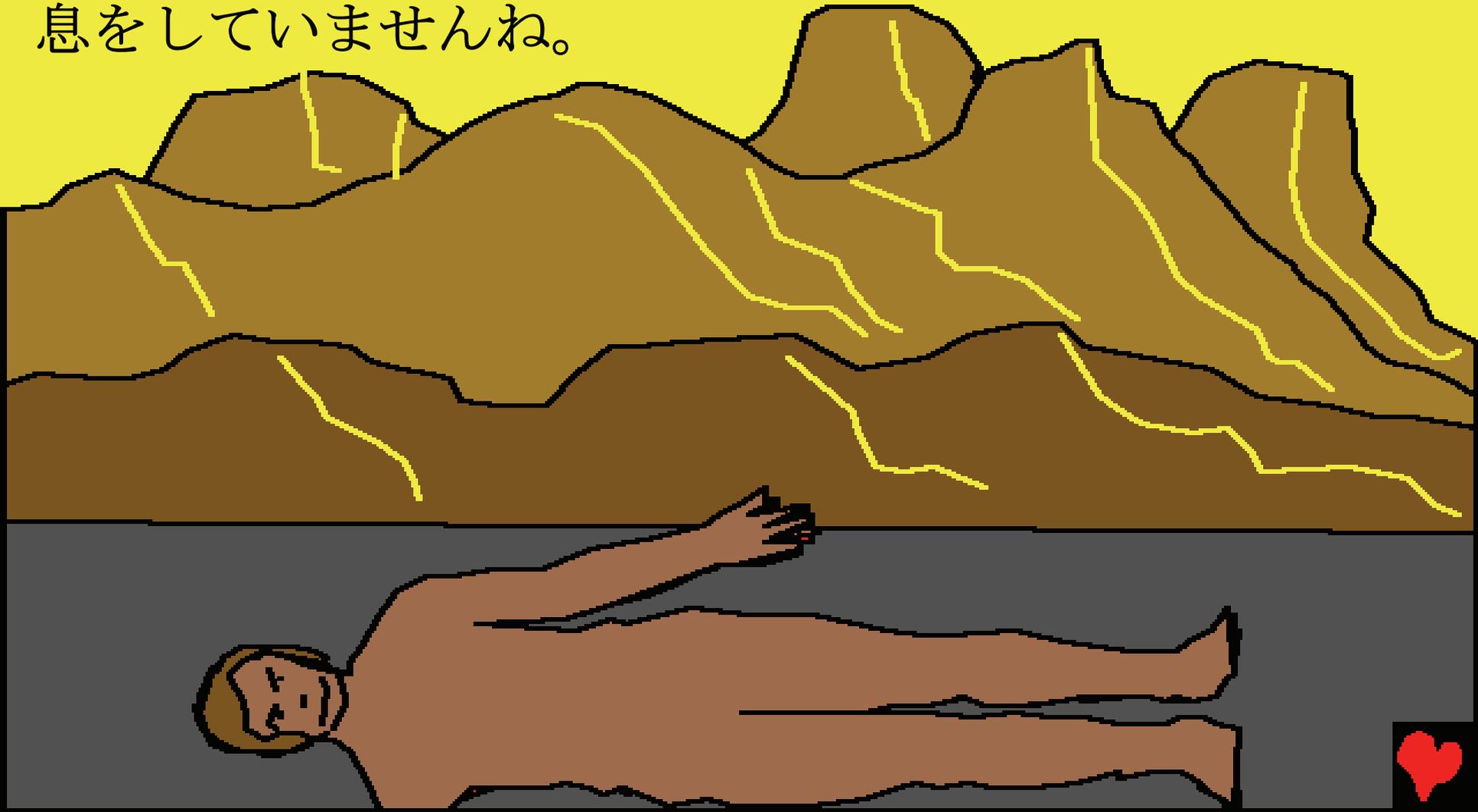
それから、骨に肉がつきました。



すると、こんどはその人たちに、

皮ふがつけられました。でもね、かれらはまだ、

息をしていませんね。



しゅ い ひと こ い かみ  
主は言われました。「人の子よ、こう言って神のこと

つた いき しほう ふ  
ばを伝えるのだよ。息よ、四方から吹いてきておく

い ふ  
れ！生きかえらせるように、吹きかけておくれ！」

エゼキエ ルがその ようにすると、どうでし  
よう。



いま し ひと いき はじ  
今まで死んでいた人たちが、息をし始めたのです。

じぶん あし た あ いま  
そして、自分たちの足で立ち上がりました。今や、

おお ぐん たに  
かぞえられないほど多くの軍たいが、谷まにあふれて  
いますよ。



かみ

神さまはね、よくわかっていらっしやいました。エルサ  
レムが、ほろぼされてしまったとき、バビロンでとらわ

びと

ひとびと

じぶん

たす

れ人となっているユダヤの人々が、自分たちは、もう助

おも

からないん だって思っていることをね。



そこで、エゼキエルに、まぼろしを見せられ、伝えられ  
ました。「これらの骨は、イスラエルのすべての民ぞく  
なのだ。わたしは、わたしの霊をおまえたちにあたえよ  
う。そして、

おまえたちを、  
じぶん　ち　す  
自分の地に住ませよう。」



なんてすばらしい神さまからのメッセージでしょう！  
エゼキエルに言われた神さまのやくそくは、ほんとう  
でしたね。 とうとうユダヤの人々は、

じぶん ち  
自分たちの地にも  
どることができ  
たのですから。



いま ひとびと

しゅ かみ

今、人々はよくわかりました。そう、主なる神が、

みんなを家へつれてかえってくださったって。神さま  
のことばは、いつもしんじつ、いつもかなえてくださ

います。



み ひと  
まぼろしを見る人、エゼキエル

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ  
エゼキエル書

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

